

平成29年2月9日開会

平成29年第1回東松島市議会定例会

# 会派代表質問通告書

東松島市議会

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>清新会</p> <p>代表</p> <p>阿部勝徳</p>	<p>1. 市政執行についての所信について伺う</p>	<p>東日本大震災からもうすぐ丸6年を迎えようとしている。市当局が最優先で進めてきた集団移転団地の土地の引き渡しも終わり、当初計画の災害公営住宅も夏までには完成するとされている。また、公共施設の再建や避難道路などのインフラの整備も着実に進み、復興が目に見える形となったことは全市民の大きな喜びであり、改めて市長はじめ、職員の皆様、関係機関の努力に敬意を表する。さらなる復興の加速化はもちろんのこと、復興後を見据えた街づくりを市、議会、市民がそれぞれの立場を尊重しつつも一丸となって取り組んでいければと思う。以下について伺う。</p> <p>(1) 復興事業について 復興まちづくり計画において復興期間を10年としているが、今後の見通しについて。</p> <p>(2) 応急仮設住宅について、一部集約を図りながら順次解体を進めていくとされているが本年度の計画について。</p> <p>(3) 交流人口の回復や国際的な防災力向上につながるように視察や研修の受け入れやスタディーツアーを実施とあるが受け入れ態勢をどう考えているか。</p> <p>(4) 新年度から全市展開となる自治会制度について 市長はその都度改善しながら進めていく旨の方針を示されてきたが、改めて市長の理想とする、地域自治協働の姿について伺う。</p> <p>(5) 就任から12年、最後の所信表明をされた心境を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第2位</p> <p>復興クラブ</p> <p>代表</p> <p>上田勉</p>	<p>1. 次期市政引き継ぎは万全か</p>	<p>平成29年度の市政執行についての所信は、骨格予算となっているが、項目ごと、以下の事項について復興クラブを代表して質問いたします。</p> <p>(1) 復興の加速化と課題解決</p> <p>市政運営のもととなる29年度の予算編成は、復旧・復興の完成に資する継続的事業と恒常業務・市民生活環境整備に必要な経費などが主になってくる。</p> <p>生活基盤に必要とされる最小限のものとして、移転先地における生活基盤の整備・地域コミュニティの基盤となる支援をはじめ公共施設の再建が重視される。</p> <p>生活での癒しとなると、「心の復興」へ<sup>かし</sup>舵をとり、加えて、新しいふるさと創生への出発点となる年となる。</p> <p>所信にもあるように、日本中の大きな課題でもある少子高齢化、人口減少が加速されるなか、震災に政府や県、そして何よりも市民が一体となり復興を進めてきた。</p> <p>実行に向けある意味、総花的なものがあり、市民の多様なニーズに対しその実行と成果に対する優先順位がやや不明瞭なものが散見されるが、次期市政に引き継ぐ基本的事業はあるか。</p> <p>青写真的なものを明確に示す必要があると思うがいかがか。</p> <p>(2) 地方財政をめぐる動きと当初予算の編成について</p> <p>平成29年度一般会計当初予算約431億円とある。基金について確認する。</p> <p>各基金は、その目的により継続して蓄えられてきたが適正に利用すべきと考える。特に震災後、多くの団体等からの支援や年々増加するふるさと納税者からの支援を得ながら蓄えられてきた。</p> <p>その多くは、震災後の生活基盤事業への資金、教育・福</p>

氏名	件名	要旨
<p>第2位</p> <p>復興クラブ</p> <p>代表</p> <p>上田勉</p>		<p>社事業への協力などを主旨とする資金となっている。</p> <p>その方向性について真に正しく運用すべき基盤が整っているか問う。</p> <p>(3) 市政運営の経過と将来への展望について</p> <p>市政運営と市民協働のまちづくりの推進は、合併後の共助を重視し、新たな市民生活基盤組織の確立を狙った体制づくりを提唱してきたが公助の重要性についての意識がどの程度なのか、その覚悟が職員の体制づくりを難しくしている。</p> <p>公助の在り方に反省点はないか。「協働のまちづくり」への申し送りはあるのか。</p> <p>(4) 分野別施策</p> <p>第2次総合計画を基とする各分野別施策について問う。</p> <p>「保」について</p> <p>申し送るべき事業はあるか。</p> <p>「備」について</p> <p>ア 消防団育成強化のポイントは。</p> <p>イ 女性活用について。</p> <p>ウ 備蓄体制の考え方、特に広域と友好都市との利活用について。</p> <p>「健」について</p> <p>地域包括支援制度と自治会組織との連携について。</p> <p>「伸」について</p> <p>子供育成環境整備について、特に保有施設の充実・不具合個所の掌握と整備計画の継続性について。</p> <p>「修」について</p> <p>ア 生涯学習活動の場の設定メニューの充実と体制整備の方向について。</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第2位</p> <p>復興クラブ</p> <p>代表</p> <p>上</p> <p>田</p> <p>勉</p>		<p>イ 友好都市提携を結ぶ自治体との相互連携(交流)の在り方について。</p> <p>ウ 国際交流連携覚書を結んだロラン市、アチェ市との交流と相互協力のメニューと長期的計画の在り方について。</p> <p>「住」について 仮設住宅やみなし仮設に入居する皆さんへの支援の在り方について。</p> <p>「働」について 観光交流分野と政府の進める地方創生総合戦略に基づく企業誘致、雇用環境改善、交流人口に対する事業展開に誤りはないか。</p> <p>「信」について 基地との連携については、第一が航空祭のありさまである。</p> <p>是々非々と言いながらも政治・経済・観光とその影響力は、大である。航空祭は、国の行事なので自力でとのスタンスは、在任中のこの種の対応には苦勞したと思うが今後についての意見は。</p> <p>また、自治体派遣制度を活用した応援職員は、来年度もさらに重要な局面を迎える。新年度を迎えるにあたり引き継ぎとしての責任は果たしえたか。</p> <p>(5) 東松島市の持続的な発展に向けて 復興道半ばで自分の政治的節目を迎えたとして、課題解決の大小はあるにしても今後のかかわり方について意見があれば伺いたい。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

